

# AI 防災協議会における研究発表紹介

AI 防災協議会(理事長:江口 清貴)は、当協議会の活動に関する研究発表を行いましたので、報告いたします。

## 【国際学会】

### ■ [国際学術フォーラム\(IAFOR\)が主催した The 11th Asian Conference on the Social Sciences \(ACSS2020\)](#)

発表日:2020年5月25日~27日

発表内容:千葉県 防災チャットボットのログデータを分析した結果について

本研究では、2019年に発生した台風15号と19号への対応として、千葉県とAI防災協議会が提供した防災チャットボットの対話データ160,196対話データを分析しました。分析の結果から、被災者が、防災チャットボットを介して、罹災証明の取得方法、経済的支援の手続き、家の修繕、防災情報、ライフライン情報などを取得しようとしていたことが示されました。

Nagayuki Saito, Nao Fukushima, Ryusuke Yonekura, Kazuto Ikeda, Kiyotaka Eguchi (2020).

Analysis of Conversation Data with AI Chatbot at the time of Natural Disaster –Based on Log Data from Typhoons 15 and 19 of 2019 in Japan–

The 11th Asian Conference on the Social Sciences (ACSS2020), Tokyo, p.45.

詳細は[こちら](#) (P.47に記載)

### ■ [The International Telecommunications Society \(ITS\)の国際会議である ITS Conference Online Event](#)

発表日:2020年6月16日

発表内容:2019年の台風19号に関するアンケートデータの分析結果について

本研究では、2019年10月に発生した台風19号の被災者に対して実施したアンケートデータを分析しました。クラスター分析の結果から、オンラインメディアから避難情報を取得する行動は、友人、知人、近隣の人から情報を取得する行動との類似度が高いことが示されました。一方で、受動的に情報を取得するオールドメディアの情報取得行動との類似度は低いという結果が示されました。

Nagayuki Saito, Nao Fukushima, Etsuko Jifuku, Yumiko Takabe, Yasuhiro Nakajima, Kiyotaka Eguchi(2020).

Analysis of the Characteristics of Evacuation Information Acquirers from Online Media based on Typhoon Victim Data

ITS Conference Online Event, The International Telecommunications Society, Online, pp.1-12.

## 【国内学会】

### ■ [情報処理学会 第82回全国大会](#)

発表日:2020年3月5日

発表内容:2019年の台風19号に関するアンケートデータの分析結果について

本研究では、2019年に発生した台風19号の被害にあった12県75,575の被験者を対象にアンケート調査を行いました。その調査データを基に分析した結果、ネット・メディアの情報を利用して避難した人々は、非利用者に比べ平均年齢が若く、未婚率の割合も高いことが示されました。若者層は、日常からネット・メディアを介して、アクティブな情報行動を執っており、そのことが災害時においてもネット・メディアを活用した割合が高いことにつながっていると考えられます。一方で、今後の課題として、中高年齢層に対する災害時におけるネット・メディアの利用普及が浮き彫りになりました。

齋藤長行、福島直央、地福節子、高部由美子、中島穂仁、江口清貴(2020)

ネット・メディアを介した台風避難情報取得者の傾向分析—台風19号被災者データを基にして—

情報処理学会第82回全国大会:金沢工業大学

詳細は[こちら](#)

## ■ [情報通信学会 第 42 回度春季大会](#)

発表日: 2020 年 7 月 4 日

発表内容: 千葉県と AI 防災協議会が共同で開発した防災チャットボットによる災害情報提供の取り組みと、そのログデータの分析結果について

本研究では、千葉県と AI 防災協議会との協働により、防災チャットボットを開発し、2019 年に発生した台風 15 号・19 号の災害時に運用いたしました。防災チャットボットから得られたログデータを時系列分析したところ、防災チャットボットとの対話内容は、台風接近時には、防災情報の取得が増加する傾向が示され、台風直撃後は家の修復や罹災証明や経済的支援に関する情報の取得が増加する傾向が示されました。このことから、発災時、応急対応時、復旧時などの各段階に応じた情報を提供するための準備が重要となると言えます。

齋藤長行、福島直央、米倉隆介、池田和人、江口清貴(2020)

AI 防災チャットボットのログデータ分析—台風 15 号・19 号時の災害情報を基に—

情報通信学会第 42 回大会: オンライン開催

詳細は [こちら](#)

### 【本件に関するお問合せ先】

AI 防災協議会

E-mail : [info@caidr.jp](mailto:info@caidr.jp)

HP : <https://caidr.jp/>